

たまちゃん通信

平成 28 年 4 月発行 76-1

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311
e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

保育園児と『手遊びで楽しく交流』

和歌山のお手玉の会の活動を地方紙が紹介

手遊びで楽しく交流
栄谷保と「お手玉の会」

和歌山 和歌山市栄谷の市立栄谷保育園（落合太子所長）と「和歌山のお手玉の会」（森勝代表）の交流会が15日、同市小路の河北コミュニティセンターで開かれ、同会メンバーと年長園児、合わせて約40人が手遊びなどを楽しんだ。

同会の119回目の月例会の一環。同会メンバーと園児たちはお手玉に輪ゴムを付けた「ヨーヨーお手玉」を使って、「雪やこんこん」を歌いながら、お手玉を一緒にゆって遊んだり、また、お手玉の会のメンバーが手遊びの「おもちゃをやいたとき」を、園児に教えたりしました。

この模様は、2月16日付の地方紙「わかやま新報」に掲載されました。（写真上）

新報には、「交流会に参加した年長の西川芽愛ちゃん（6）は『一緒に歌って遊んで』楽しかった』と笑顔で話していた」と紹介していました。

和歌山のお手玉の会(森勝代会長)は、日ごろから交流をしている和歌山市栄谷の市立栄谷保育所の園児を、同市市小路の河北コミュニティセンターに招き、交流会を行いました。

お手玉の会のメンバーと園児合せて40人が、平成28年2月15日、同センターに集い『手遊びで楽しい交流会』を開きました。この交流会は、同お手玉の会の第119回目の月例会の一環として行われました。

お手玉の会のメンバーと園児たちは、お手玉に輪ゴムをつけた「ヨーヨーお手玉」を使って、「雪やこんこん」を歌いながら、お手玉を一緒にゆって遊んだり、また、お手玉の会のメンバーが手遊びの「おもちゃをやいたとき」を、園児に教えたりしました。

この模様は、2月16日付の地方紙「わかやま新報」に掲載されました。（写真上）

新報には、「交流会に参加した年長の西川芽愛ちゃん(6)は『一緒に歌って遊んで』楽しかった』と笑顔で話していた」と紹介していました。

『活字離れの子どもに図書館で読み聞かせ』

和歌山のお手玉の会の森勝代会長が代表を務める、和歌山県立図書館ボランティア「コスモス」では、メンバー9人による絵本の読み聞かせを、2月20日、和歌山市西高松の同図書館で行い、来館した子どもと保護者が、ものがたりの世界を楽しみました。

この読み聞かせの活動も、地方紙「わかやま新報」が、2月25日付の紙面で、次のように紹介しました。（写真下）

「コスモスは、活字離れが進んでいる子どもたちに、絵本や紙芝居を通して日本語の豊かさに触れてもらおうと発足し、現在は県内在住の9人が毎月第3土曜日に読み聞かせ会を開いている。

119回目の今回は、森代表は紙芝居『おうさまさぶちゃん』を披露。主人公のさぶちゃんが動物の王様になる内容で、子どもたちは森代表の声に耳を傾けた。

この他、絵本『お弁当バス』などの読み聞かせ、手遊びやマジックをする場面もあり、子どもたちは笑顔で楽しんでた。

母親と一緒に同館を訪れた有田川町の崎山裕里加ちゃん(2)は『紙芝居楽しかった。また来たい』と笑顔で話していた」

コスモス
活字離れの子どもに
県立図書館で読み聞かせ

和歌山 県立図書館ボランティア「コスモス」のメンバー9人による絵本の読み聞かせが20日、和歌山市西高松の同図書館で行われ、来館した子どもと保護者が、物語の世界を楽しんだ。

コスモスは、活字離れが進んでいる子どもたちに、絵本や紙芝居を通して日本語の豊かさに触れてもらおうと発足し、現在は県内在住の9人が毎月第3土曜日に読み聞かせ会を開いている。

119回目の今回は、森代表は紙芝居『おうさまさぶちゃん』を披露。主人公のさぶちゃんが動物の王様になる内容で、子どもたちは森代表の声に耳を傾けた。

この他、絵本『お弁当バス』などの読み聞かせ、手遊びやマジックをする場面もあり、子どもたちは笑顔で楽しんでた。

母親と一緒に同館を訪れた有田川町の崎山裕里加ちゃん(2)は『紙芝居楽しかった。また来たい』と笑顔で話していた」